# 次世代育成大学野球サマーリーグの歩み



大学野球サマーリーグ実行委員会 2019年7月8日

### 開催経緯

- ▶ 2013年 三条市民球場(三条パール金属スタジアム)の指定管理者を務める(株)丸富と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの研究プロジェクトによる共同研究を実施
- ▶ 2014年7月 球場活性化策として大学野球との連携を検討
- ▶ 2014年8月 1,2年生主体の大学野球の育成試合の開催を検討開始。
- ▶ 2015年8月 慶應義塾・明治・新潟医療福祉を参加校に第1回大会開催
- ▶ 2018年8月 慶應義塾・明治・立教・東洋・筑波・早稲田・新潟医療福祉を参加校に第4回大会開催。応援指導部が参加し、早慶戦にて応援合戦を行うことが決定。
- ▶ 2018年11月 サマーリーグを参考に第1回オータムフレッシュリーグin静岡が開催。慶應義塾・明治・立教・筑波・早稲田・中京・静岡・東海大 学海洋学部が参加
- ▶ 2019年8月 慶應義塾・明治・立教・東洋・筑波・早稲田・法政・新潟・新潟 医療福祉を参加校に第5回大会開催。地域貢献プログラムが大幅拡充し、応援合戦も2試合(明立戦と早慶戦)で実施

### 開催趣旨:問題意識

1. 育成世代の試合機会の創出(大学野球界へのメッセージ)

100名を超える部員が所属し、200名に迫る部も存在する中、成長のためには多くの試合機会が必要。既存の枠組み(公式戦と練習試合の組み合わせ)では試合数は増えない。学生が運営の担い手となって新たな大会/リーグを創出し、試合数を確保する。

2. 地域活性化/地方創生に寄与する大学スポーツ(地域へのメッセージ)

チームが多く存在する都市部では球場利用が飽和している。球場利用で融通の利く地域の協力が試合数増加のためには必要。各地で動く地域活性化プログラムに大学野球を組み込むことで地方が大学野球を誘致する意義を生み出すことにつながる。開催地の課題により沿い、 貢献する意識が必要不可欠。

3. 部員が企画し運営するイベントのモデル構築(大学スポーツへのメッセージ)

学生主導型の大会運営を追求。OBや現地の関係者は最低限の運営環境を準備。各年度ごと に企画チームを結成し、毎年新たなテーマに取り組みイベントを継続的に刷新していく。運 営を通じた人材育成。

野球は、特に、制度的制約(学生野球憲章)からビジネスとして大学野球の新たなイベントを創出する主体は生まれにくい。制約が外れない限り、学生自身が問題を感じ、関心をもって取り組むことがなければ新しい大会は生まれにくい。問題意識をもった学生が躍動できる場の設定が必要。

### 大会の参加大学等推移

開催年	参加大学数	新潟外から の参加学生 数	試合数	地元高校と の試合数	企画運営に 関わる学生 数	応援合戦有 試合	地域交流プログラム(野球教室等)
2015	3	60	4	0	2	0	1
2016	5	120	8	1	2	0	1
2017	6	180	21	6	5	0	1
2018	6	220	20	4	12	1	3
2019	9	250	29	7	22	2	7

- ▶ 2017年に大会規模が3倍になったが企画チームの学生が対応
- ▶ 2018年は企画チームの活動が活発化。協賛班、広報班、地域貢献班に分かれて対応。
- ▶ 2019年からは地元の新潟大学と新潟医療福祉大学が企画運営に全面参加。 企画運営にも多くのメンバーが参加し、地域貢献プログラムが充実

### 2019年企画チームの活動内容

### 地域貢献班(12名)

各世代のチームを対象にした野球教室プログラム(対象:少年野球、中学軟式、中学硬式、高校野球、障がい者野球)

一般観戦者を対象にした交流プログラム(野球体験、大学野球のグランドレベル 視察、応援企画など)

高校野球女子マネージャーのアナウンス体験

### 広報班(10名)

SNSを通じた情報発信、パンフレットやホームページ作成のための必要情報の収集、プロモーションビデオの作成、メディアキャラバンの対応等を担う。ポスター、パンフレット、チラシ、選手カードの作成については、三条市内のNPOにサポート頂いている。







写真は2018年

### 2019年6月24日 事前視察

2班に分かれて事前視察を実施し夕方に現地の運営委員会を開催

- ◆マネージャー班 宿泊地となる公民館、食事会場となる仕出し屋さん、入 浴施設など15施設程度を視察
- ◆企画チーム班 各球場と選手交流会会場を視察





### 2019年チラシと協賛依頼書



## 第 5 回 大 学 野 球 サマーリーグ

今年も三条、見附、長岡の3会場で第5回大学野球サマーリーグを開催します。本大会は「ひとづくり」をコンセブ トとし、大学野球部の「選手育成」と「地域貢献」を目的に神宮球場を飛び出し、新潟でサマーリーグを開催致します。

将来、地域を担う原動力となる小学生向けの地域貢献プログラムや高校生との交流試合など、大学野球を通じて地 域の「ひとづくり」に貢献することが参加学生の人財育成にもつながります。身近な目標としての学びや大学スポー ツを目指す動機づけとなる本事業につきまして、趣旨に御賛同いただき、経費多端の折、誠に恐縮ではございますが 本事業を成し遂げるために、ご協賛を賜りたくお願い申し上げます。

#### 日時 令和元年 8月8日(木)~8月11日(日)

場所 三条パール金属スタジアム、見附運動公園野球場、長岡市悠久山野球場

協替特典

ご希望の協賛特典にチェックをして頂き、三条パール 金属スタジアムへ FAX [0256-32-8943] またはメール info@ballpark-sanjo.com お願い申し上げます。 ※お振込みの際には、お名前の前に必ず 001 を記載して下さい。 なお、振込手数料はご負担くださいませ



下記お申し込み内容に 北越銀行三条支店(普)442507 ご記入の上、写真をこ ちらのメールにお送り 三条市民球場応援団 ください。

- ·長間会場8/9(全)~11(日)
- ・見附会場8/10(土)~11(日) ・三条燕総合グラウンド8/8(木)~9(金)
- ※詳細は表面スケジュールをご覧下さい。

#### 協賛金の用途

「協賛金は、野球部員の遠征費、応援部・ 応援指導部・チア等の交通費、大会 PR など、全て大学野球サマーリーグの運 営費として活用させて頂きます」

#### 五輪峠コース100本限定

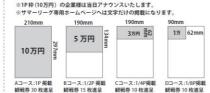


自然豊かな下田郷の逸品として 生生れた本格学協耐です。 サツマイモ、米麹、刺水には城 ノ腰の清水、 原材料はすべて下 田産を使用しています。 爽やかな飲み口で女性に好評の 芋焼酎です。

5,000円コース 下田摩本格芋焼酎

#### パンフレット/ホームページ掲載コース 締切日7月14日(日) ※掲載広告データ提出も含む。

※1P枠(10万円)の企業様は当日アナウンスいたします。



※ご協質を頂げる際は大変御手数ですかト記該当欄に内容の記入をお願い致します。 **協替金は運営費に充てるため観戦券の払い戻しはありません。ご注意ください。** 

令和元年 月 日

	フリガナ		フリガナ		フリガナ
事業所名				担当者名	
所在地 連絡先	TEL FAX	協賛特典 ※複数選択 5,000 円コース 五輪峠+観戦券(	「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	) 🗆 B	コース:1/2P 掲載 ( )口

お問合せ 三条パール金属スタジアム 担当:小岩井 〒955-0803 新潟県三条市月岡4丁目36番1号 TEL:0256-32-8911 FAX:0256-32-8943

主催:三条大学野球サマーリーグ実行委員会

廖颀羲塾体育会野球部/早稲田大学野球部/明治大学野球部/立教大学野球部/法政大学野球部/東洋大学野球部/筑波大学野球部 新潟医療福祉大学野球部/新潟大学野球部/株式会社丸富

共催:三条市、三条スポーツ少年団 後援:三条野球連盟、各校 OB 会ほか

### 2019年市民参加型交流プログラムチラシ

### 三条市内の保育園、小学校に計8345枚を配布



### 選手カードの作成

### 地域貢献の一環で選手カードを作成、地域貢献プログラムで配布

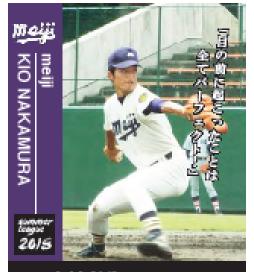
打者カード



#### 24 近藤 直樹 ※¥チ右右

178cm/78kg 人間科学部2 年 江戸川学園歌手

サマーリーグへの思いや抱負など 近藤 直衛です! 2017 年に引き続き 2回日の参加と なります。下田で食べた郷土料理や地域の人達との 触れ合いを今年も楽しみにしています! 今年も応援 宜しくお願いいたします。 接手カード



#### 36 中村 希生 照手箱

177 cm/72kg 南学部南学科 3 年 - 仙台三高校

サマーリーグへの思いや抱負など 最後の夏に向けて大事な時期になりますが、ピンチ で三種が取れるようにストレートの貫を上げていき たいです。そして、チームの中心として勝利に貢献 したいです。 裏面カード(共通)





大学野球サマーリーグで 活躍している選手情報を Get しよう! 出場選手の エピソードや最新情報な どが満載!!

https://sml-sanjo.sakura.ne.jp

大学野球サマーリーグのコンセプト

新瀬県三条市で「ひとづくり」を! 大学野球の次世代主力選手たちが、神宮 球場を飛び出して繋い戦いと地域の皆さ んとの交流を行います!

見本は「打者」カードと「投手」カードの二種類です。 甲子属出場経験有りの選手には写真上にマークが有ります。

### 2015年第1回大会の様子

参加校:慶應義塾、明治、新潟医療福祉













【上段】左:初回ミーティング@明大野球部合宿所。中央:メディアキャラバン@新潟市。右:開会式

【下段】左:慶大清水翔の本塁打。中央:野球教室前のミーティング、右:地元メディアの報道

### 2016年第2回大会の様子

参加校:慶應義塾、明治、立教、東洋、新潟医療福祉

















【上段】左:企画ミーティング。中央:ラジオ出演。右:応援にかけつけた地元の子供たち

【中段】左:開会式。中央:テレビ出演。右:試合後の主催者への挨拶

【下段】左:選手交流会。右:サインに応じる選手

### 2017年第3回大会の様子

参加校:慶應義塾、明治、立教、東洋、法政、筑波

















【上段】左:企画ミーティング。中央:開会式。右:大学生と高校生の交流

【中段】左:野球教室前の打ち合わせ。中央:大学生の打撃に見入る地元小学生。右:学生作成のポスター

【下段】左:テレビ対応。右:選手交流会

### 2018年第4回大会の様子

参加校:慶應義塾、明治、立教、東洋、法政、筑波、新潟医療福祉

















【上段】左:三条高校に吹奏楽の支援依頼。中央:未経験者教室。右:参加校の幟 【中段】左:選手カードを配布する選手。中央:応援団をバックに好投する投手

【下段】左:早稲田対慶應戦後の応援団と高校生。中央:少年野球教室。右:ポスター

大学野球サマーリーグ実行委員会

### SNSでの情報発信

#### News

お知らせ





### 大会ホームページ



#### About

次世代育成大学野球サマーリーグとは

新潟県三条市の三条パール金属スタジアム、三条燕総合グラウンド、長岡市悠久山球場および見附市の運動公園野球場を舞台に参加校の次世代主力選手の育成を目的とした交流試合、ならびに、選手による地域貢献プログラムを実施し、各チームの選手育成、大学/大学野球部の地域貢献を促進することで、参加校、開催地双方の「ひとづくり」に寄与することを目的に開催致します。

LEARN MORE

### 影響

#### 新たなコンテンツを創る立場に

- ✓ 学生が野球を行う場所を提供されてきた立場から、生み出す立場に
- ✓ 伝統に守られた立場から、時代にあわせ、新たにコンテンツを作る立場に

#### チームが動いて大学スポーツを社会に還元する

- ✓ 学生が学生の手で大学スポーツのコンテンツカを高め、積極的に社会に働きかけて還元する中で、学生自身も成長する。
- ✓ 学生だからこそできることも多く、地域では「学生」が強みを発揮することも

### 実社会と関わる楽しさの発見

- ✓ サマーリーグという実践フィールドで自ら意思決定を行いながら実社会と関わりながら活動を行う。うまくいって支援を得られることもあるし、失敗することもあるが、短期間で様々な経験をする。
- ✓ 授業で学んだことを実践し、仮設の検証を行う。研究テーマにする学生も

### 2018年より応援合戦

学生らの働きかけによって第4回目大会 (2018年)から応援指導部招聘が実現 早慶のリーダー、チア、吹奏楽がそれぞ れ18名参加し、地元の三条高校の吹奏楽 部と一緒に応援合戦を展開

大学野球の対戦校同士の対立構図の緩和と相 互理解を促すために生み出された応援指導部 の役割を伝えるのも大学野球の役割

試合前後と試合中のエール交換は双方を称え あう文化を象徴。

ゲームは味方と敵を分けるが、試合が終われば「仲間」として、互いに尊敬しあう関係に 戻るべきというメッセージ







### 企画のスケールアウト

# 2018年秋より、サマーリーグの秋版として、オータムフレッシュリーグin静岡を開催

新潟でのサマーリーグの取り組み が評価され、2018年11月23日、 24日、25日で開催。

#### 参加大学8校

静岡大学、東海大学海洋学部、中京大学、明治大学、

立教大学、慶応義塾大学、早稲田大学、筑波大学

参加高校6校:静岡市内の6校

企画チームは既に始動をはじめ、 静岡大学の学生を中心に展開

2019年は11月22、23、24日で 開催予定



### 本資料に関する問合せ先

松橋崇史(慶應義塾体育会野球部OB)

連絡先: mtakashi@sfc.keio.ac.jp